

# K S K Q かがやき

編集人  
社会福祉法人  
かがやき神戸を支援する会

目次

- P1「理事長の新年の挨拶」
- P2「かがやき神戸を支援する会会長の新年の挨拶」
- P3「企業との連携～フェリシモ販売～」
- P4.5「かがやき神戸に出会って」
- P6「夢ホームへの道part15／  
法人・支援する会の動き」
- P7「支援する会たより」
- P8「会費を納入頂いた方・お願い・編集後記」

<https://kagayaki-kobe.jp>

## あけましておめでとうございます

社会福祉法人かがやき神戸 理事長 **松原 建二**



あけましておめでとうございます。

2025年は、かがやき神戸の活動にご支援ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。2026年も、皆様にご支援にお答えできるよう進んでまいりますので、本年もよろしくお願いたします。

さて、2026年、かがやき神戸最大の目標は、重度重複障害対応型グループホームの建設を飛躍的に進めることです。2019年に第3期将来構想を発表し、7年超しでようやく、実現が見えてきました。グループホーム建設の実現に向けて大きな課題は以下の3点です。

1つ目は高額なグループホーム建設費の確保です。約2億円かかる建設費をどう作るのか、国からの補助を満額受けることができたとしても、残りの1億5千万円を作らなければなりません。

2つ目は人材不足です。グループホームは365日の支援が必要です。それには多くの職員が必要ですが、どこも人材不足の状況です。仕事に慣れてもらうためにも早くから雇用したいと思いますが、人件費が増えて法人全体の経営を圧迫します。開所と同時にうま

く稼働できるようにどう人材を確保するのが課題です。

3つ目はそもそもの制度の脆弱さです。障害が重い人を支えるには人員がたくさん必要です。しかし、今の制度では、満足に人員を配置することができません。何か手がないか模索中です。

この大きな3つの課題を克服するためにも、3月14日の「チョコレートな人々」チャリティー映画会を成功させたいと思います。この映画会は建設資金作りのためであることはもちろんのこと、かがやき神戸の活動や、障害者福祉について関心を持つ人を増やすために開催します。応援の輪を広げグループホーム建設を必ず実現します。

私は昨年お迎えした、ニシアフリカトカゲモドキに癒されながら、1年間がんばっていきたいと思います。



ニシアフリカトカゲモドキ

## 戦争はいやです！平和でなければ 誰もが安心して暮らせません

かがやき神戸を支援する会 会長 **池山美代子**さん



新年があげました。ですが「おめでとうございます」の言葉は言えない状況が続いています。世界中で終わりが見えない戦争や、排外主義、また気候変動と……。昨年は猛暑も加わり息苦しいほどの閉そく感を感じながら夏を乗り切りました。

昨年は戦後80年でした。しかし、世界の現状は戦後というより戦前の様相を呈してきているようで不安です。

罪もない一般市民の多くの命が犠牲になってしまう戦争、中でも、幼い子供たちや障害のあるかた、高齢のかたなど社会的弱者のおかれた状況を考えると、本当に胸が痛みます。今、私たちに何ができるかと考えたとき、「戦争はやめて、平和がほしい」という一人一人の声を上げ続けることはできるのではないのでしょうか。

日本では戦後80年間、憲法9条の元で戦争をしない平和が続いていることの意味を誰もが実感していることと思います。今年も、今何が大切なのか皆さんと共に考え、行動していきたいと思ひます。

かがやき神戸は、今春で法人設立27年目を迎える事になります。設立から今日まで、支援する会の皆様はじめ、多くの皆様の物心両面のご支援が何よりの支えでした。これまで、その支え

をいただきながら、利用者の皆さんの願いや想いにそって事業展開を行ってきました。現在、そのプランの「重度障害者の暮らしの場」づくり実現に向けて具体的に動きだしております。かがやき神戸を支援する会といたしましても、物心両面の支援を続けていきたいと思ひます。

2014年1月30日に日本でも障害者権利条約が批准され、今年で12年になります。その中に「他の者との平等」という言葉が何度も繰り返されています。いかに障害を持たれている人たちの現状が生きにくく、暮らしにくいのかという表れでもあります。彼らが願う暮らしは、決して特別な事ではありません。当たり前のことです。

今年も、その当たり前の暮らしの実現に向けて進んでいるかがやき神戸を、皆様と共に支援していきたいと思ひます。昨年同様ご支援ご協力をお願い致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。



## 企業との連携 ～フェリシモ販売～

10月31日にフェリシモさんの本社内  
で、福祉事業所（3ヶ所）の販売会が行  
われました。フェリシモさんは通販大手  
で生活用品全般の業務を展開しています。  
担当の社員さんが、かがやき神戸の焼き  
菓子を委託先の販売所で購入いただき、  
今回の企画に至りました。フェリシモさ  
んには「C.C.P」という福祉と企業の協  
働プロジェクトがあり、福祉事業所の商  
品を、企画を通してサポートしてくだ  
さっています。

当日は、事前に商品の予約をしていた  
だいた社員さんに焼き菓子をお届けしま  
した。また当日販売の商品も購入いた  
だきました。当日販売では法人の北区で  
作っているトートバックも持参しました。  
その会場は、福祉作業の職員や利用者、  
そしてフェリシモさんの社員全員で盛り  
上げようとする雰囲気があふれていて、  
とても活気があり、本当に充実した一日  
になりました。

福祉事業所にとって、このような企画  
は大変ありがたいことです。福祉事業所  
では様々な自主商品を作っていますが、  
一番のネックは販売先、流通先を確保す  
る事が本当に難しいことです。職員と利  
用者が一生懸命に作り上げた商品も、  
知ってもらわなければ価値がありません。  
色んな方面に営業には周りますが、繋  
がるのが少ないのが現状です。

商品作りは利用者の作業になりますが、

その大きな役割が主に2つあります。一  
つめは、作業を通してスキルを磨く訓練  
になることです。細かい作業をこなすこ  
と、スピードを上げること等、その目的  
は利用者の障害特性によって変わります。  
そして二つめは工賃（給与）保障にあり  
ます。利用者の工賃はまだまだ低いのが  
現状です。就労継続支援B型の兵庫県の  
平均工賃は1万円程度です。多くの利用  
者が受けている障害年金と合わせても余  
裕のある生活は臨めません。そのため福  
祉事業所としてできることは良い商品  
を作り、多くの方に購入いただき、その  
売上げを工賃として還元することです。  
そのためにも日々、利用者と共に頑張  
っていかねばなりません。

今回の販売会は福祉事業所にとって本  
当に良い機会になりました。改めまして  
フェリシモさんには感謝いたします。あ  
りがとうございました。



フェリシモスタッフの皆さんと



利用者の力作 外観



素敵な北区のトートバック



販売場所から見える海が絶景

## かがやき神戸に出会って～職員の思い～

## 「素敵な出会いを通して」

就労継続支援事業B型 あくる 事業責任者 伊藤 智美 (いとう ともみ)



2001年にかがやき神戸に入職しました。かがやき神戸との出会いは大学生の時でした。ゼミで参加したある講演会で、池山前理事長がシンポジストとして登壇されていました。何のテーマの講演会であったかは覚えていませんが、「障がいのある人の権利を守ると同時に、労働者としての権利を自分で守らなければならない」と池山さんがお話されていました。まだ社会人になる前の私にはそのことがとても印象的で、それがかがやき神戸との一番初めの出会いだったなあと今も思い起こされます。

縁あってかがやき神戸に就職することができ、この25年の間でさまざまな現場での経験をさせていただきました。私にとって、かがやき神戸で働いているからこそ得られたと思うことが二つあります。

一つは、かがやき神戸が大切にしている「利用者から学ぶ」ことが、どの現場にいても一貫して自分自身を成長させてくれたということです。あの人、この人、とたくさんの利用者やご家族の方の顔が思い浮かび、一緒に喜びあったこと、厳しく指摘をしていただいたこと、しんどい時期を共に乗り越えたこと等、多くのことが思い起こされます。正直に言えば、「もう仕事を続けられないかも」と苦しんだこともあります。そんな時でもやはり「利用者から学ぶ」ことが私自身を支えてくれた気がします。「利用者から学ぶ」ことは、「利用者の権利を守る」ことにつながっていると思います。もしそれが崩れると、大切なことを見失ってしまって苦しい時期を乗り越えられなかったかもしれません。

もう一つは、いろいろな方とのつながりができたことです。かがやき神戸の職員は様々な地域のネットワークやきょうされん等の外部の役割をもっている人が多いです。私も入職して間もない頃から、いろいろな機会をいただきました。今思うと、よく経験も知識もない私に大切な役割を任せてくださったものだと驚くとともに、成長の機会をくださったことに感謝しています。内向的で受け身姿勢が基本の私でも、様々な方とのつながりができたおかげで今があると思います。

きょうされんの活動の中では、理想と思うようなことを現実に実践されている全国あちこちでの取り組みや、目標にしたいと思う素敵な先輩方との出会い等があります。自分も学んで成長していきたいという意欲をもつきっかけをいつもいただいています。

そして、支援センターにいた17年間では、地元の地域の中で魅力的な実践をしている方々からも刺激をいただきました。また、身近なところで困ったときに相談ができたり、嬉しい出来事を共に喜び合えたり、しんどさを共有できたりする人とのつながりができました。昨春の就労継続支援事業B型あくる立ち上げにむけては「絶対に焦ったらいけないよ」と尊敬する先輩に言われ、その言葉を繰り返し思い出しながら、立ち上げ期をじっくりとすすめることができたと思います。とても感謝しています。

これからも、利用者やご家族の方、地域の方、たくさんの方に支えていただきながら、自分自身が少しずつでも成長していけるよう、楽しみながらいろんなことに取り組んでいきたいと思っています。

## かがやき神戸に出会って ～職員の違い～

## 「新たな一歩」

のびのびホーム職員 木坂 素子 (きさか もとこ)



皆様はじめまして。この春から専任職員としてお世話になっております木坂と申します。これからどうぞよろしくお願いいたします。

勤務場所は、これまでと変わりありませんが、かがやき神戸のわいずホームとして新たな一歩を歩ませて頂いています。これから益々地域に根付いた貢献を目指し運営されているかがやき神戸に、今この時期に身を置く事が出来たこと、より良き未来を目指して微力ながら共に活動を担えたらと、身が引き締まる思いでいっぱいです。

わいずホームがスタートし半年が経ちましたが、利用者さんへの職員の方々の優しさ、包容力、そして熱意を日々目の当たりにしています。また利用者さんにおいてはかがやき神戸でのたくさんの方々との出会い、たくさん喜びや楽しさ、深い理解を得られる事は生きる活力になっていると改めて感じました。

私はこの地域に長く住んでおりますが、先日初めて春のマルシェに伺いました。利用者さんと職員の方々の日々の取り組み・頑張りが、催しなど様々な形を通して、地域と人々を、元気づけて下さる素晴らしい時間になっている事を心から感じた一日でした。わいずホームの利用者さんも、明るい表情でお客様に接しておられて、思わず笑顔にさせてもらいました。

現在わいずホームでは2名の利用者さんと体験の利用者さんの計3名で過ごす事があり、お互いに新しい出会いとなっています。

私たちが利用者さんに対してどのように接したら良いか、何が出来るのかと不安を感じている以上に利用者さんは親元を離れ、住環境や生活の変化など不安や心配があると思います。私は、利用者さんの多くの笑顔や、一生懸命に意思を伝えようと頑張っている姿を見て、少しでも応えていきたいと思っています。私がかうまうまかなかった時も許してくれる、利用者さんの包容力に感謝でいっぱいです。

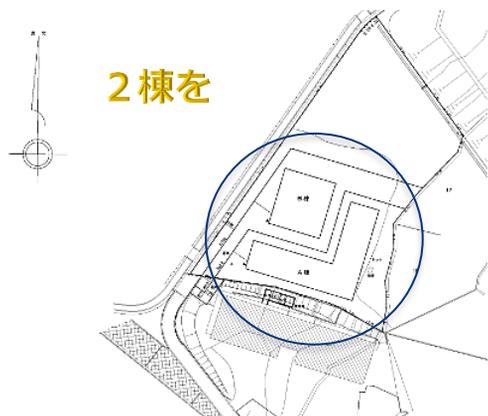
まだまだ未熟な私ですが、初心を忘れることなく、かがやき神戸の皆様と共に利用者さんお一人お一人に丁寧寄り添っていきたく思っております。



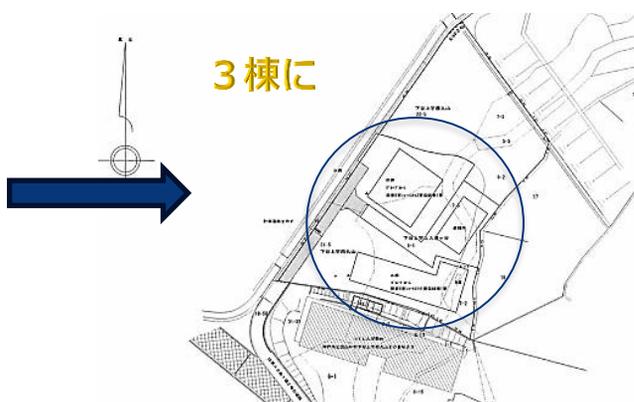
## 夢ホームプロジェクト Part15

グループホーム配置図面を大幅に変更！

これまでは、建設許可での建設を目指してきたが、一向に進まない状況を受け、神戸市が示す開発許可による建設に方向転換をしたのが、つい4ヶ月前。これを受け、これまで、2棟の建設を進めてきたが、3棟に変更（車椅子対応型グループホームと避難所を分けて建設することとなる）。まずは、開発許可をとるため、新たな配置図面を基に一級建築士である嶋本氏と共に神戸市との協議を進めている。



車椅子対応型グループホーム（L型）には、グループホームと福祉避難所を設置した図面となっていた。



車椅子対応型グループホームをグループホーム部分と避難所部分を切り離した図面となった。

## 法人・支援する会の動き 2025年10月～12月

**10月17日18日**

**きょうされん全国大会in奈良**

多くの利用者と職員が参加しました。



**10月27日**

**理事会**

- 第1号議案 グループホームについて
- 第2号議案 一次補正予算について
- 第3号議案 新ホームについて
- 第4号議案 奨学金返済支援制度について

**11月14日**

**評議員会**

- 第1号議案 一次補正予算について

**11月15日**

**地域ふれあい祭り**

広陵小学校にて地域ふれあい祭りを行いました。多くの方に来場して頂きました。



**11月27日**

**臨時理事会**

- 第1号議案 新ホームについて。

## 支援する会たより

### かがやきセミナー (2025年度)

支援する会の**ハイブリット研修!**  
(会場もしくはオンラインいずれでもご参加可能です)

# 「自閉症を『不安』という視点で理解する ～強度行動障害の人たちの支援～」

参加費  
無料

日時：2026年1月16日 (金) 16:00～17:30

場所：社会福祉法人かがやき神戸北事業所 とまり木「みんなのへや」

講師：三木 裕和 氏  
(みき ひろかず)

立命館大学産業社会学部現代社会学科 教授  
きょうされん京都支部支部長

三木先生は、「いわゆる強度行動障害の状態にある自閉症の人たちは、とても混乱しているように見えます。彼ら彼女らが示す爆発的な行動のそこには何かがあるか」と提起。講演ではそのようなことをどう捉えるかお話いただけます。ご参加お待ちしております。

## かがやきセミナー お申込み

(お申込み：FAX/TEL QRコードいずれかをお願いします)



お名前		お電話	
メールアドレス	@	ご所属	
参加方法	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> Zoom(個人) <input type="checkbox"/> 集まってZoom (場所： )		

社会福祉法人かがやき神戸を支援する会 (松田・濱田)

神戸市北区山田町下谷上字西丸山20-30 TEL:078-582-5544 FAX:078-582-5526

## 「秋の交流イベント」報告



支援する会では会員交流の機会を提供しています。

西区では、11月9日(日)開催の神戸医療生協主催の「WHOウオークin舞子公園」に21名が参加予定でしたが、雨天中止に。「残念!」「次に期待」という声が上がりました。

北区では、11月15日(土)の「地域ふれあいまつりin広陵小学校」に参加しました。天候にも恵まれ、ステージ発表、健康相談、食べ物模擬店、野菜やリサイクル物品販売など豊富なプログラムを多くの人を楽しんでいました。会員5名で「子供向けクイズ」コーナーを担当しました。応募用紙は100人分用意していましたが、午前中で終了してしまいました。景品と一緒に、取り組んでいる「YUME HOMEプロジェクト」のパンフレットも渡して、活動をPRしました。  
(平尾)





**支援する会に会費を  
納入いただいた方**

(2025年8月9日～9月25日までに

更新/入会された方 順不同・敬称略)

平井孝洋 香山隆司 長谷川洋子 黒岩ウノ  
 押田忠明 松浦歌子 澤田和也 田中一子  
 松本竹生 浜田加代子 富永嵯和子 島上智  
 正木博夫 中川和子 島田富美子 坂井信一  
 北川朋子 佐和良一 西川陽子 西山恵子  
 奥谷育代 湊本明美 湊本洋志 湊本繁夫  
 高垣文江 浜田里美 藤岡篤司 安福陽子  
 飯原洋子 森元慎吾 奥野好隆 北村洋子  
 古家みどり 横山新 塩見興平 塩見仁美  
 塩見昌子 塩見遥人 餅田正二 餅田直美  
 餅田俊太 神尾忠 銀奈津世 鴨井健二  
 金沢治美 成川吾郎 塚本涼 山本珠津子  
 万年ルミ 牧野朋子 牧野遥子 木下正彦  
 青田由幸 田辺純子 中村好孝 宮内鏡  
 前羽啓男 前羽文 岡田清 岡田秀子  
 李義昭 李晴美 李昭国 李昭世 李昭洋  
 藤田みゆき 藤田彩瑛 藤田彩綺 乾玲子  
 菊池勉 松原孝夫 松原真智子 稲村良夫  
 松原耕一 平野和美 吉崎智裕 田嶋啓志  
 安崎貞宣 野木真由美 岡田哲典 名定博  
 藤田光子 松岡邦子 松岡哲司 白瀧泰子  
 原田文孝 竹中ヨシ子 永田圭子 砂原徹

松野歯科医院 兵庫県農民運動連合会  
 塩谷建設株式会社 株式会社大生産業  
 株式会社フィール ゆうあいホール  
 株式会社フォーユー 櫛谷町連合自治会  
 有限会社ボンポアン 緑史園 氏原健史  
 認定こども園 太陽の子保育園  
 こやまクリニック代表 小山治  
 医療法人村内歯科医院 村上光一  
 NPO法人健康笑い塾 中井宏次  
 たにがみ家族の集い 児玉祥伍  
 むらかみ診療クリニック 村上直也  
 株式会社AVインテリアオフィス  
 社会福祉法人あかしあ労働福祉センター  
 理事長 北村典幸  
 シンクレア・アンド・ラッシュ株式会社  
 代表取締役 平岩功輔

**ご協力ありがとうございます**

(すでに更新された方で、お名前の載っていない方は次回掲載させていただきます)



**☆会費納入のお願い☆**

●社会福祉法人かがやき神戸を支援する会の2025年度会費(2025年4月～2026年3月)納入をお願いいたします。

**★ かがやき神戸を支援する会  
2025年 年度会費 1000円**

会費振込先(郵便振替)

口座記号口座番号:00930-1-67354

加入者名:社会福祉法人かがやき神戸を

支援する会

かがやき神戸

検索



かがやき神戸のホームページも  
ご覧ください!!

**【編集後記】**

2026年になりました。昭和生まれの私は、“人類は1999年に滅亡する!”と教えられてきたので、21世紀を無事に生きている今は実にラッキーです。世の中はどんどん便利になり、良かった良かった。・・・しかし、ちょっと待て。私たちが生き残った21世紀は人間にとってラッキーな反面、動物や環境にとってはどうなのか?人間が生き残って良かったと思えるような地球になっているのか。うーん・・・せめてこれから少しでも良かったと思ってもらえるような世界にしたい。今年はちょっとまじめにそう思う新年の幕開けです。(平山)

2026年1月号 (No.109)

編集人:(社福)かがやき神戸を支援する会  
定価:1部50円

事務局:神戸市北区山田町下谷上字西丸山  
20-30 (かがやき神戸北事務所)

TEL:078-582-5544

FAX:078-582-5526

発行人:関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2

東興ビル4F